

お詫び文が届きました！

平成29年4月29日、千葉県・香取市の「佐原の山車行事」がユネスコ世界無形文化遺産に登録されたことを祝うイベントで、自由民主党幹事長代理の林幹雄氏が「今歯の治療中でありまして、お聞き苦しいところがあるかと思えますけれどもご容赦いただきたいと存じます」と声のかすれた原因を説明した上で、「決して脳梗塞ではありません」と発言したことを大変遺憾に思い日本失語症協会は、抗議活動を続けて参りました。

「JAPC ニュース」34号にてお知らせいたしました通り、1回目の抗議の書面は、平成29年5月23日付で送りましたが回答はなく、更に平成29年10月1日に抗議文を送りました。2回の抗議にもかかわらず何の回答もありませんでした。

この間、ずっと「大和言語さくら会」の久保島様から抗議活動継続の激励を頂いたことも力となり、やはり諦めずに平成30年8月1日に抗議文を「内容証明郵便」にて送付いたしました。そして……。下記のお詫びの文面が林幹雄氏の事務所から届きました。

これを機会に林幹雄様には、「失語症」の良き理解者としてご活躍されることを期待します。

特定非営利活動法人日本失語症協会

理事長 八島 三男 様

平成30年8月21日

衆議院議員 林幹雄事務所

拝復 貴会から平成30年8月1日付文書（以下「本件文書」）を受領致しました。これに以下のとおり返信いたします。

記

昨年4月29日のイベントにおける挨拶について、日刊誌で報じられ、その後貴会から抗議の文書を頂きました。貴会からの文書を拝見し、脳梗塞によって失語症などの後遺症で不自由な生活を送っている方々に対し、誠に軽率な発言であったことを林本人は大変反省し、ご不快の念を持たれたであろうことに対して大変申し訳ないと申していました。

この時に、貴会に対し、その旨をご連絡差し上げれば良かったのですが、今日までご返信ができず、心よりお詫び申し上げます。

改めましてご不快の念を与えてしまった貴会関係者及び後遺症で不自由な生活を送っていらっしゃる皆様へ心よりお詫び申し上げます。

以上